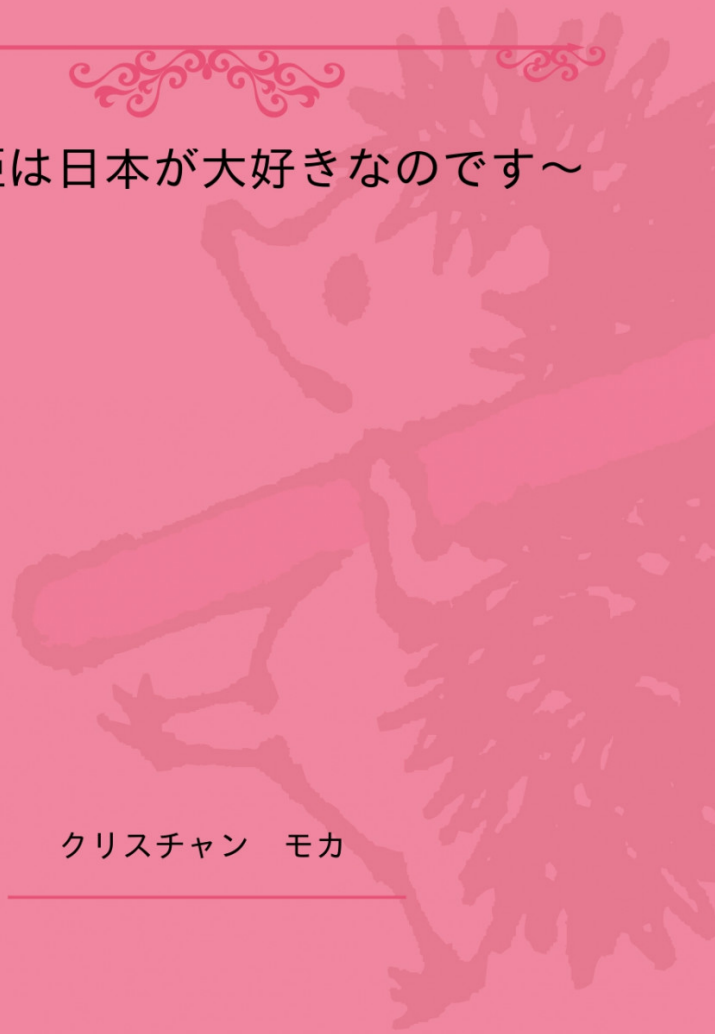




モカ姫の世直し☆大作戦



～モカ姫は日本が大好きなのです～



クリスチャン モカ

目次

モカ姫の世直し☆大作戦	1
-------------------	---

モカ姫の世直し☆大作戦

モカ姫の世直し☆大作戦

「モカ姫、モカ姫！ 朝ですよ」

「うにゅ……眠い……もう少し……」

「ライフラインが始まりますよ！！」

「はっ！ ライフライン……！！ 見るう！」

私、モカ姫はココアに優しく揺り動かされ、ベットから抜け出した。

私は姫として君臨し、この日本で人々に愛を宣べ伝えている。

私なしではこの国は持たないと思う。

それぐらい自信に満ちあふれているのだ！！

「姫様の自信はどこから来るんですか？」

「占いをたくさんしたからね。

四柱推命とかで自分の命式を占うとすっごくいいことが書いてあるんだ。

劫財・帝旺とか」

「モカ姫はパワフルなんですね！！」

「わがままで強引な劫財が帝旺でさらに勢いづいて！

かつ私は食神が上に来て、まさに鬼に金棒。

何をしても赦されるおてんばキャラなのですよ！！ おほほほ」

「それでいて、キュートだから人にも憎まれぬ！！ 完璧☆なのですよ～」

「さあライフラインだ！！ だいいちテレビをつけてっと」

私は福音伝道番組を見るためにチャンネルを4に合わせた。

ちなみにこの番組は土曜朝午前5時からやっている。

絶対に見るべし！ 見るべし！！ なのですよ～☆

「ああ、このCD欲しいなあ……」

「でも、ここは切り詰めましょう。モカ姫はいっぱい持ってるし」

「うん。そうだね。我慢我慢☆」

テレビでは歌いつつ歩まんが歌われていた。

主にすぎるわれに悩みはなし～♪

「主にすぎるわれに悩みはなしか……」

「なんでもジーザスに聞きましょうね。モカ姫」

「そう！ ジーザスは何でも答えてくれる……」

ジーザスに祈ることを再確認したモカ姫なのでした☆

「モカ姫、体調はどうですか？」

「う～ん、昨日よりはいいみたい。

副作用止めのおかげかなあ」

モカ姫は抗精神薬をたくさん服用しているのだ！

でも、この薬のおかげでモカ姫は幸せに暮らしている。

モカ姫は日本国に感謝しているのだった☆

「さっ、パンとカフェモカと朝薬ですよ」

「ありがとうココア。私、もっと日本のために頑張るよ！！」

ココアがコンビニで買ってきてくれたパンを食べ、

モカ姫は使命を再確認するのでした☆

モカ姫はブログをやっている。

主イエスの恵みがあなたにというブログだ。

<https://ameblo.jp/lapis-2019/>

主イエスの恵みが、あなたがたとともにありますように。

コリント I 16 : 23 新改訳 2017

を見つけてから、このタイトルが好きになった。

使徒らしく、皆様に平安がありますように。を

冒頭に入れている。

とっても可愛らしいのだ！！

「モカ姫、いいねは来てますか？」

「うん！ 来てるよ～。こっちからいいねしないとしてくれないし、

やっぱりいいねはするべきだねえ」

「モカ姫は何でもいいねしちゃう悪食ですからね！」

「モカ姫は長い文章は苦手。モカ困っちゃう」

私モカは長い文章を読むと気が狂いそうになる。

一体どうしたのか？

「神様がそれだけモカのことを大事に思ってるってことですよ！！」

「そ、そうかなあ……。はあ、ジーザス様！ 感謝です！！」

モカは日常の主の愛に感謝をささげたのでした☆

「モカ姫、どの訳の聖書を読みましょう？

もう決めましたか？」

「モカは、ジーザスにより頼んで、聖書協会共同訳にする。

この訳が一番愛があると思う」

「最近、モカ姫はカトリックに心を開きだしてますものね。

”愛の種蒔き”という CD を聴いて！」

「この CD はなかなか見られない平安があった気がする。

プロテスタントのみの信仰じゃこの味は出せないと思う」
「でも、感性が鈍るんですよ！」
「そう！ この執筆中も感性が！ 感性が！！
必至にジーザスにより頼んで書いてます！！」
「モカ姫はいつも全力で偉いです☆ 世の鏡ですよ」
「そ、そうかなあ……。愛って大切だよな！ 情とか」
「モカ姫は情で動くんですものね！」
「モカは困ってる人をなるべく助ける！！ それがモカの務めだから！！」
「モカ姫はいつも主により頼んで偉いです。
モカ姫の未来が祝福されますように」
「ココアもいつもありがとう。
ココアがいなかったら、とっくに私はダメになってたよ」
ココアとの友情を確認し、聖書協会共同訳を読むモカなのでした☆

「モカ姫え、洗濯をいたしましょう。
EM-W で！！」
「この EM-W は黒カビも落ちるし、とっても強い！
それでいて口に含んでも安全なくらい安全設計！
EM 菌の洗剤らしいよ。みんな買うがよろしい」
「魔法のような洗剤ですよ」
「そう！ 洗濯もできちゃうしね。でもパンツは臭いけど。
でもお洋服はもう臭くない。完全に汚れが落ちてる。
完璧☆です！！」
「重曹でもいけちゃうけど、EM-W でもいけちゃう！
自然に優しい洗剤はたくさんありますね」
「こういう事実は包み隠されていく。
陰謀！ 陰謀の匂いが！！」
「モカ姫は何でも赦して偉いです。
それでこそ姫ですよ」
「自分も罪深いからね☆
その罪は全部ジーザス様に赦していただきました☆
罪を赦す力。それは福音の力です☆」
「ああもう完璧！！ 流石姫です！！」
ココアとの楽しい会話を楽しんだモカなのでした☆

「ふふふふふ～ん♪」
「モカ姫、また唐揚げを買ってきましたね☆」
「そう！ この唐揚げにい、オリーブ油をかけるのがモカの楽しみ。
モカは加熱されたものにオリーブ油をかけるのです☆」
「このひと手間が料理が絶品に！！」

何か違う味わいになるってことですね！！」
「そう！ モカはカレーにもオリーブ油をかけます！！
カロリーに気を付けて。でもおいしいです！！」
「スペシャルハピネスしてるモカ姫に祝福があらんことを！
もうかなり祝福されてる気がするけど」
「そうなんだよね～。だからモカはみんなのために頑張る！
ファイト、おーっ！！ なのですよ～☆」
「可憐な花ではなく健気な雑草なモカ姫☆
素敵です！！」
モカはココアがいるからいつも明るいのだ！！
そして、神様！
モカは世界の光として今日も頑張ります！
アーメン

モカは今日もココアとしゃべり、
メルルのアトリエというゲームをやり、
気が狂い、
不調と戦い、
明るく生きていた。
こんな日常が毎日続けばいいと思っていた。
思っていたんだが.....。

「モカ姫、テレビを見ましょう！
姫として、世の常識を知っておくのも必須ですよ！！」
「う～ん、気が乗らないなあ.....。
見なくちゃダメえ？」
「いつも見てないんだから、今日ぐらい見ましょう！
ね？」
「分かったよ、ココア。
じゃあ、NHK をつけよう」
モカは大好きな NHK を付けた。
しかし、いいニュースではなかった.....。

「この度、総選挙で第一党となった
国家安全搾取党の横山輝夫です☆
国民の皆様には新しい”常識”を備えていただき
栄えある未来を送っていただきとう存じます！
それでは、内閣の紹介に移ります☆」

「何だウィ、これは！！ ふざけた人間だウィ！

いい加減にしろって思うぬん」
「国家安全権取党、きっと社会主義の政党ですよ。
よく選挙で勝ち抜きましたね」
「こんな政党が勝ち残るなんて世も末だウィ。
どうかしてるぬん、日本は！！」
「まったく、ふざけた人間ですね」
私たちは続きを見た……。

「夢の火消し担当大臣の二階堂昌です☆
若者の夢見る力を奪い去り、
秩序と安定と我々党員の生活の安定を図りたいと思います！！
言論と表現の封殺！
刑の厳罰化を推進いたします！！
あと税も。
どうか、よろしく願いいたします☆☆」

「な、何ですってえええ！！ もういいぬん！
聞き飽きたぬん！ 天罰を与えてやるぬん！」
「モカ姫、どうするのですか？」
「私がすばらしい説教を作って聞かせてやるぬん！
神様の力、思い知らせてやるぬんよ！！」
「聖書箇所はどうするのです？」
「もし、人の過ちを赦すなら、あなたがたの天の父も
あなたがたをお赦しになる。
しかし、もし人を赦さないなら、
あなたがたの父もあなたがたの過ちをお赦しにならない。
マタイ6：14、15にするぬん！
福音の力、見せてやるぬん！！」
「流石、姫様！
じゃ、私は祈ってます☆」
「ありがとう！！ じゃあ、仕事に取り掛かります☆」
モカはゴーゴー幽霊船を聴きながら、
説教準備に取り掛かるのでした☆

「モカ姫、拡声器の準備はできましたか？」
「できたよお。この日のために買って置いてよかった☆
さっ、いこっか☆」
「はい！ 参りましょう」

私たちは電車に乗り、

国会議事堂に着いた！！
そして、拡声器を振り上げ、
でっかい声で福音を語った！

「主イエスを信じなさい！！
主はあなたがたのことを愛しておられます！！
もし、人の過ちを赦すなら、あなたがたの天の父も
あなたがたをお赦しになる。
しかし、もし人を赦さないなら、
あなたがたの父もあなたがたの過ちをお赦しにならない。
マタイ6：14, 15
人に優しくすると天の父もあなたがたに優しくします。
が、人に厳しくすると主も厳しくなる。
私たちが人を見るように、
ジーザスも人を見るんですよ！
人に優しくしましょうね、皆さん！！
アーメン 」

国会議事堂から人々が出てきた。
何やら物々しい気配。
きっと、モカ姫を捕らえに来たのだ！！

「分かった！ 分かったぬん！！
もういいぬん！ でも、人に優しくしてください。
あなたがたも神に愛される御国の子どもなのですから」
「神がいるわけないだろう！
ふざけんな！！」
「神はいます！
すべてのものは神が造りました。
あなたも神様に造っていただいた愛される子供です。
主イエス・キリストの御名こそ私たちが救われる御名。
(使徒4：12)
信仰こそ、旅路を、導く杖～♪
弱きを強むる、力なれや～♪」
「まったくどうしようもないやつだな。
いったん我が党まで来てもらおう」
「え？ あ、はい！ 行きます！ 行かせていただきます！
福音のために！！」

そして、国家安全権取党本部。

「話は聞かせてもらったよ。
なかなかいい思想をしてるじゃないか。
もっと話を聞かせてくれ！！」
「はい！ この世はジーザスが仕切っています。(コロサイ1：16)
この世のリーダーはジーザスです。
だから、ジーザスの意向を無視するのは良くないです。
どんなことでも☆」
「ほう、ジーザスというのは神の御子で、
私たちも神の子どもというわけか。
さばきは子に委ねられてるので(ヨハネ5：22)、
何でもジーザスにお従いするのがいいということか。
いいじゃないか！ 信じよう！
で、私はどうしたらいい？」
「天皇陛下に実権を献上するのもよろしいかと。
昔はそうだったんでしょ？
今もそうすればいいぬん」
「分かった！ そうしよう！
八紘一宇の理念はついに果たされるということか」
「そうですよ！ 私たちは臣民。ジーザスの元で」

こうして、モカ姫はめちゃくちゃな党を改心させた。
テレビの取材が来たが、モカ姫は御言葉を
一言二言述べただけで、あとは言わなかった。
モカ姫はジーザスが大好きなのです。

モカ姫は帰りに明治神宮により、
明治天皇に挨拶をして、
家路についた。

モカ姫は神社は偶像ではないと思っているのだ！

「こんなにきれいな偶像があるわけじゃないね。
日本人も正しいし。
我が神はジーザスただ一人。アーメン」

モカ姫には世界は素晴らしく見えた。

アーメン

あとがき

私を主人公にしました☆

最近、コロナコロナってひどい。

日本ではコロナはそうひどくないので、
放っておけばいいと思う。

インフルエンザ以下みたいだし。

でも、私は今の政府を悪く言いません。

みんな必死に考えて生きてる。

問題ない。

皆様に祝福がありますように。

私たちを癒すのは主なのですから。

アーメン

2021/5/02 モカ

出典：聖書協会共同訳、新改訳2017

主イエスの恵みがあなたに

<https://ameblo.jp/lapis-2019/>

フリー BGM / 喜びの油を注がれて

<https://aineshinestar.wixsite.com/yorokobi>

モカ姫の世直し☆大作戦

著 モカ

制作 Puboo
発行所 デザインエッグ株式会社
